

令和 7 年度 総合型選抜小論文方式 小論文（資料分析型）【幼児教育保育コース】

試験時間：60 分

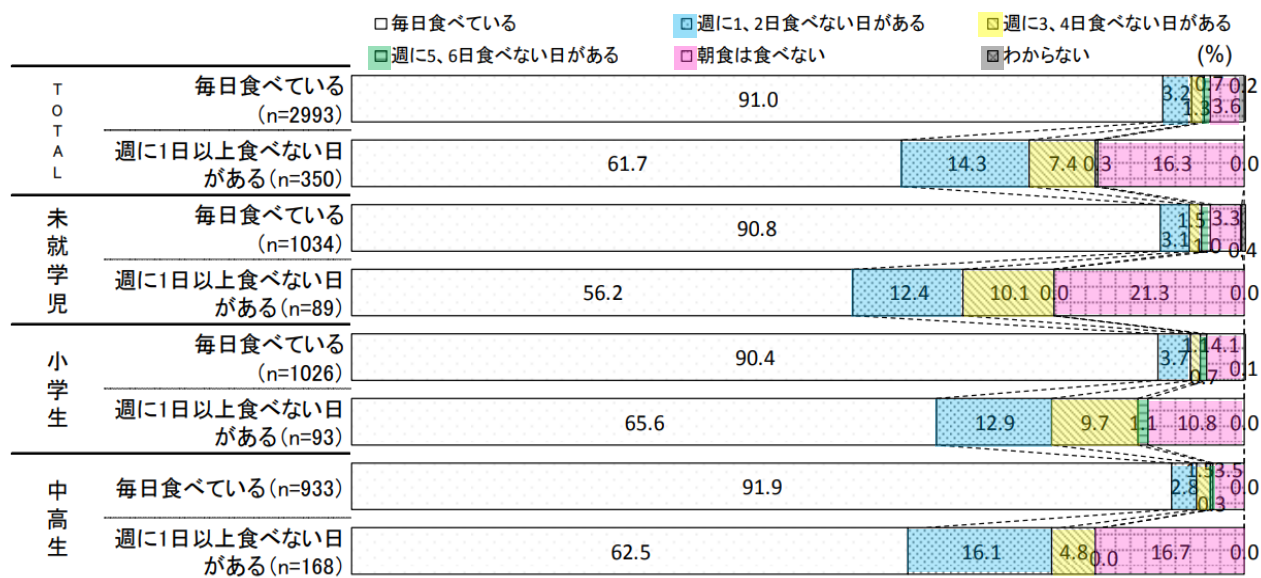
.....

食べることは生きるための基本であり、子どもの健やかな心と身体の発達に欠かせないものである。しかし、近年、社会経済的状況やライフスタイルが変化する中で、子どもの食をめぐる問題は多様化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されている。

こうした中、平成 17 年に「食育基本法」が施行され、保育園や幼稚園でも、保育・教育活動の一環として食育の取り組みを行っている。乳幼児期から、発育・発達段階に応じた豊かな食の体験を積み重ねていくことで、食を営む力の基礎を培うことが目指されている。

問. <図 1～3>は、おおむね 18 歳までの子どもがいる保護者の食生活に関する現状と食育への関心について示すデータである。これらの図から読み取れることを述べなさい。その上で、子どもの豊かな食生活のために、保育者としてどのような支援が必要だと思うか、考えをまとめて述べなさい。

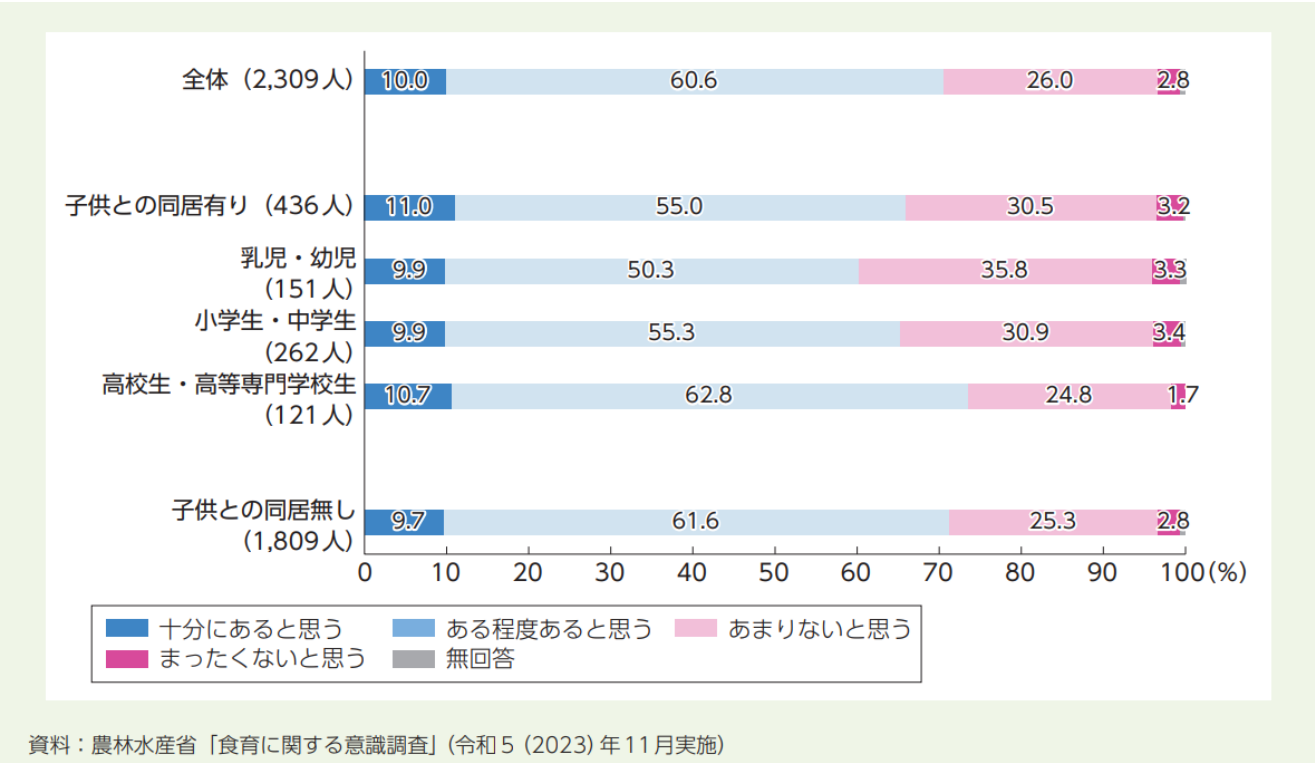
(600 字以上 800 字以内。横書き)



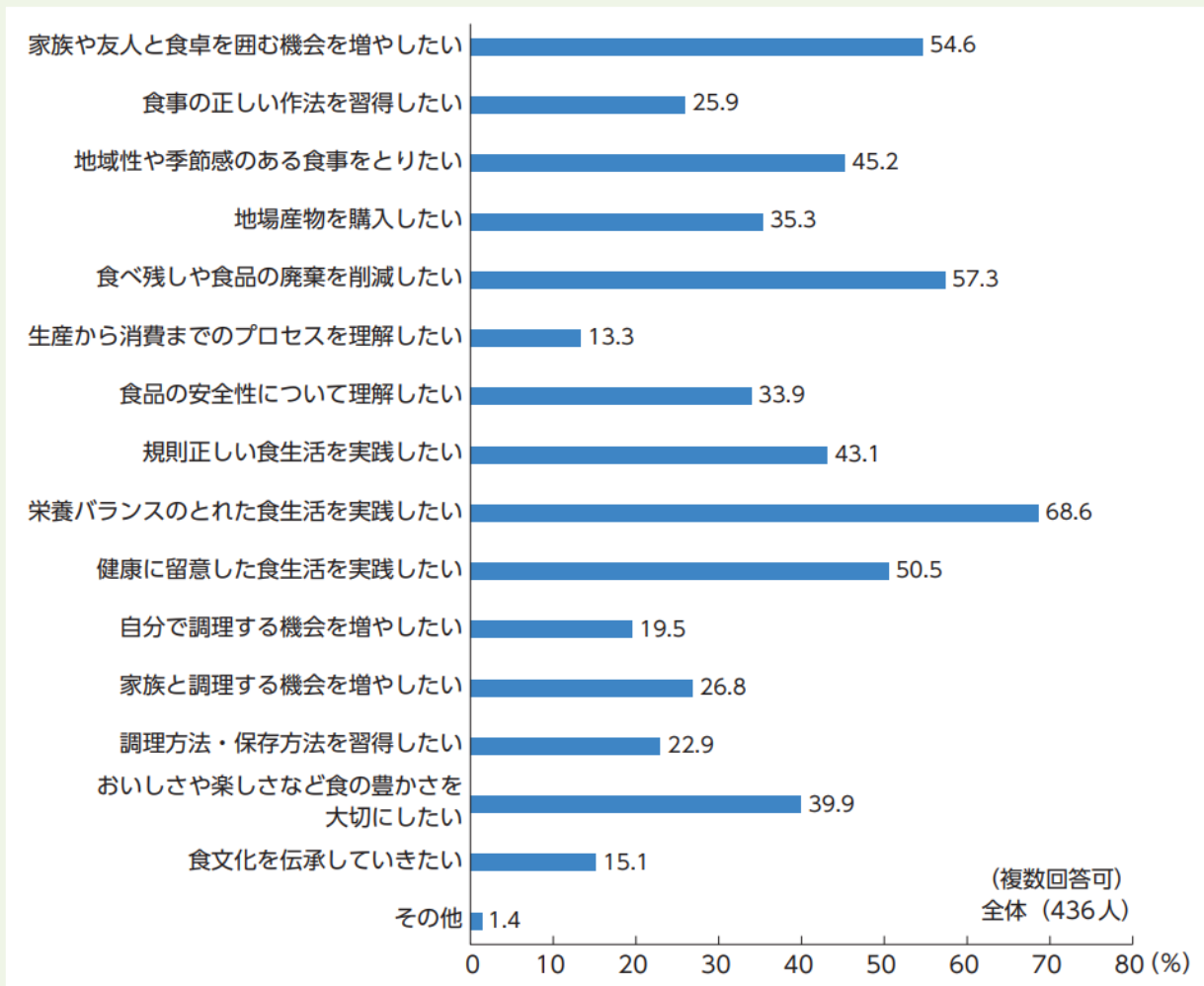
子どもの朝食摂取状況（縦軸）／保護者の朝食摂取状況（横軸）

＜図 1＞保護者の朝食摂取状況（子どもの朝食摂取状況別）

出典：「平成 30 年度 家庭教育の総合的推進に関する調査研究」（文部科学省）を一部加工
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/fieldfile/2019/12/04/1246352_001.pdf



＜図 2＞食品の選択や調理についての知識（子どもとの同居の有無別）



資料：農林水産省「食育に関する意識調査」(令和5(2023)年11月実施)

＜図3＞ 今後、食育として実践したいこと（子どもとの同居有り）

出典：「令和5年度 食育推進施策（食育白書）」（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/r5_wpaper-52.pdf